

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書及び本体の取付け方法は、スマート・Fウォール/端部柱セット同梱の取扱説明書・取付説明書を必ずご確認ください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工前に

-  **警告** ●転倒防止を目的とした防護柵や、歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
-  **注意** ●正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●本製品の材質はポリスチレンフォームを使用しています。施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。
●本パネルは、下塗装(バインダー)の状態でご出荷します。

施工上のご注意

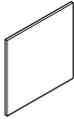
-  **注意** ●できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮するおそれがあります。
●落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
●本製品の科学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類などには優れた抵抗性を持っています。アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵されやすいので、触れると変色・変形する原因となります。
●万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
●火気があたり続けると軟化や融解をします。火気は近付けしないでください。
●製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
●パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
●本製品の取付けについては、取付説明書を必ずご確認ください。

INDEX

	〈現場仕上〉
INDEX	1
梱包明細表	1
各部名称	1
1.施工前の確認	2
2.アクセントパネルの施工	2~4
1.アクセントパネルの加工	2
2.プライマーの塗布	2
3.アクセントパネルの貼付け及び、ネジ固定	3
4.コーキング処理	4
5.目地テープの貼付け	4
6.再コーキング	4
3.仕上げ塗装	4

梱包明細表 〈現場仕上〉

アクセントパネル(+30)セット

名称 部材・部品	略図	員数
アクセントパネル(+30)	 1000×1000×30	1
φ4.1×38ナベ木ネジ		20
取付説明書		1

プライマー・刷毛セット

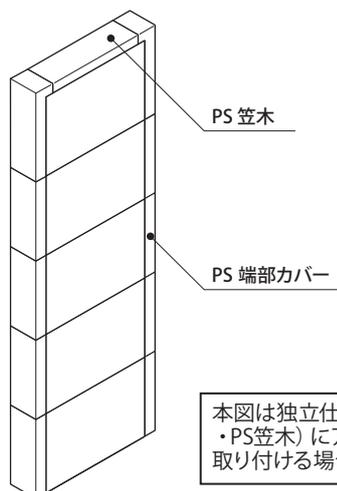
名称 部材・部品	略図	員数
プライマー	 100ml	1
刷毛		1

目地テープセット及び接着剤セット

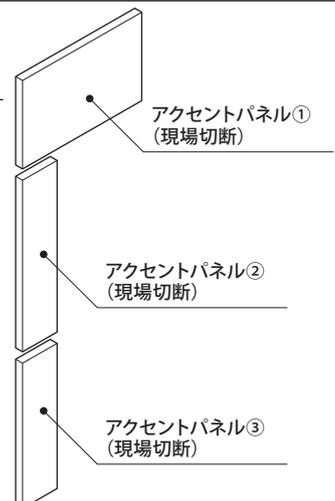
名称 部材・部品	略図	員数
目地テープ	 50mm×45m	1
接着剤	 135ml	1

各部名称 〈現場仕上〉

本体 (現場仕上仕様)



アクセントパネル (現場切断)



本図は独立仕様 (PS端部カバー・PS笠木) にアクセントパネルを取り付ける場合があります。

1.施工前の確認〈現場仕上〉

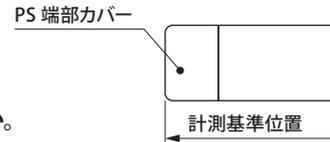
施工前にスマート・Fウォール/端部柱セット同梱の取扱説明書・取付説明書を参照ください。

2.アクセントパネルの施工〈現場仕上〉

1.アクセントパネルの加工

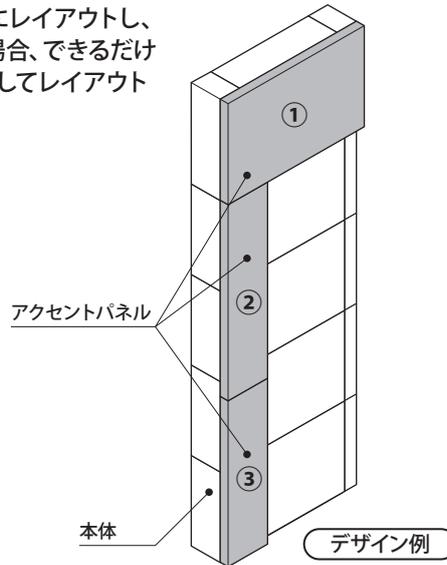
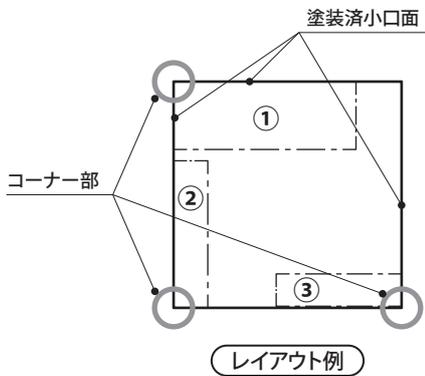
ご注意

必ず、本体組み付け終了後（PS端部カバー・PS笠木の貼り付け後）に本体寸法を実測し、本体に合わせてアクセントパネルの加工・貼り付けを行ってください。
 ①のアクセントパネルのように本体とアクセントパネルの左右両端を同面で合わせる場合は、右記参照にて必ず本体を実測し、本体と同じ寸法に切断してください。（寸法が異なると段差の原因となります。）

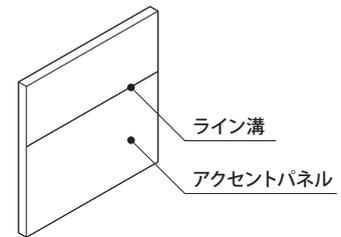


①デザインに合わせてアクセントパネルにレイアウトし、下記方法にて切断してください。この場合、できるだけ塗装済小口面、及びコーナー部を生かしてレイアウトしてください。（下記レイアウト参照）

部材名	梱包名称
アクセントパネル	アクセントパネル (+30) セット

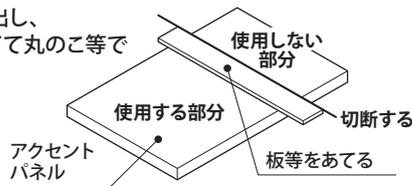


●アクセントパネル表面のライン溝について
 アクセントパネルの表面に、切断時に付いた直線状の小さな溝がある場合がありますが、品質上問題ありません。

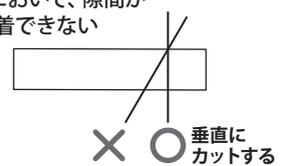


●切断方法

1.デザインに合わせて寸法を出し、罫書き線を引き、板等をあてて丸のこ等で切断してください。



2.真っ直ぐ垂直に切断してください。本体パネルとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。



2.プライマーの塗布

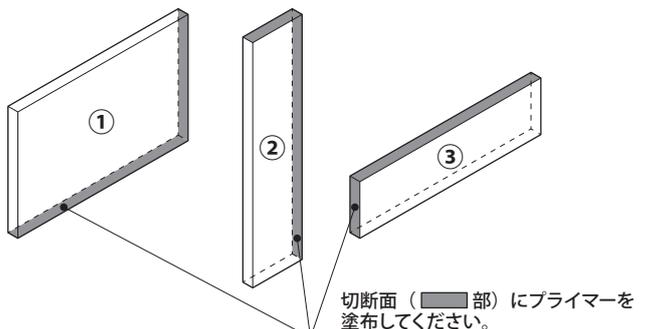
①切断面（部分）に、プライマーを刷毛にて塗布してください。

※付属のプライマーで約0.72㎡塗布できます。

（小口面（30mm）だと約24㎡塗布できます。）

※プライマーを塗布する前に、パネル切断時に出た細かな切粉を除去してください。

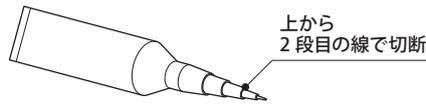
部材名	梱包名称
プライマー	プライマー・刷毛セット
刷毛	



2.アクセントパネルの施工

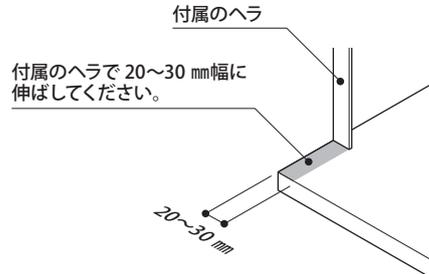
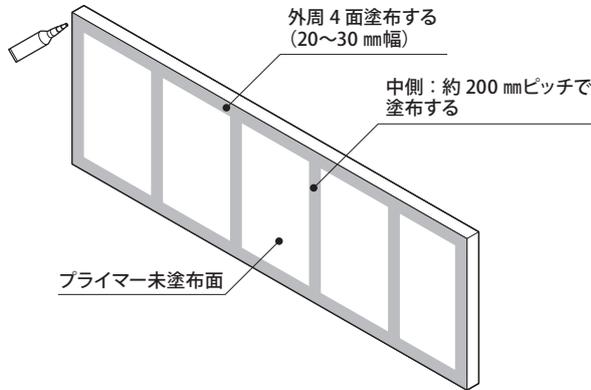
3.アクセントパネルの貼付け及び、ネジ固定

- ①接着剤付属のキャップを取り付け、上から2段目の線で切断してください。

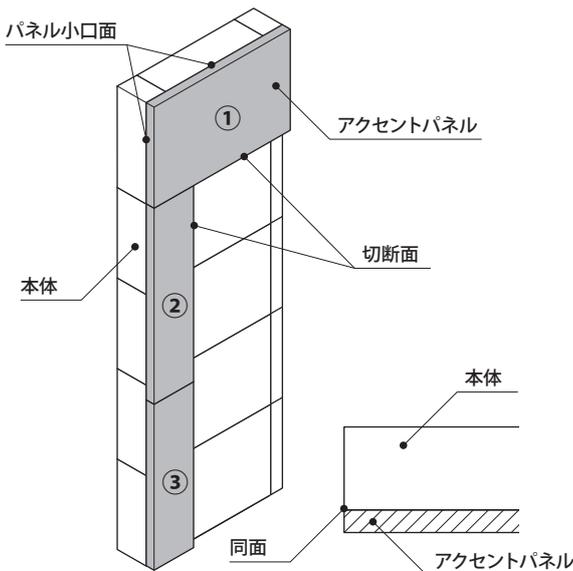


部材名	梱包名称
接着剤	接着剤セット

- ②切断したアクセントパネルの裏側（プライマーの塗ってない面）に、下記方法にて接着剤を塗布してください。



- ③下記貼り付け例を参照し、切断したアクセントパネルを順次本体に貼り付け、ネジで固定してください。この場合、できるだけプライマーの塗布してあった小口面を外側に、切断面を内側にするようにしてください。



ご注意

接着剤が硬化する前に、アクセントパネルを貼り付けてください。（接着剤の硬化時間は、接着剤の説明書を参照してください。）

パネル小口面は本体とアクセントパネルが同面になるように、位置合わせを必ず行ってください。（ズレると段差の原因となります。）

※本体の目地テープはアクセントパネル貼り付け後、同時に貼り付けてください。

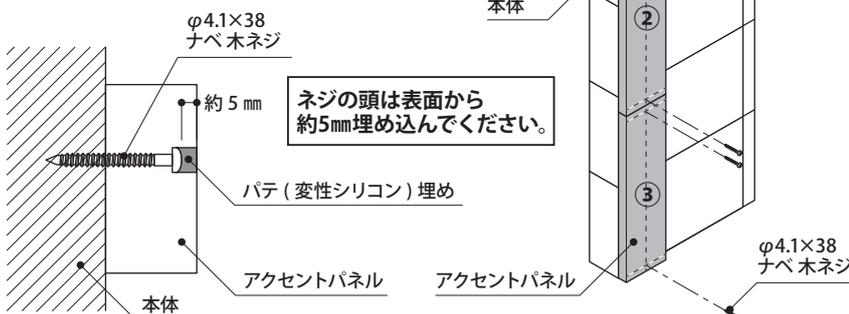
- ①のアクセントパネルの場合、上面及び左右側面を本体と同面にして貼り付けてください。
 - ②③のアクセントパネルのように片面のみ本体端部と同面の場合、端部側が同面になるように貼付けしてください。（端部の面がなかったら段差の原因になります）
- ※隙間ができた場合、パテ（変性シリコン）埋めしてください。

④ネジ固定

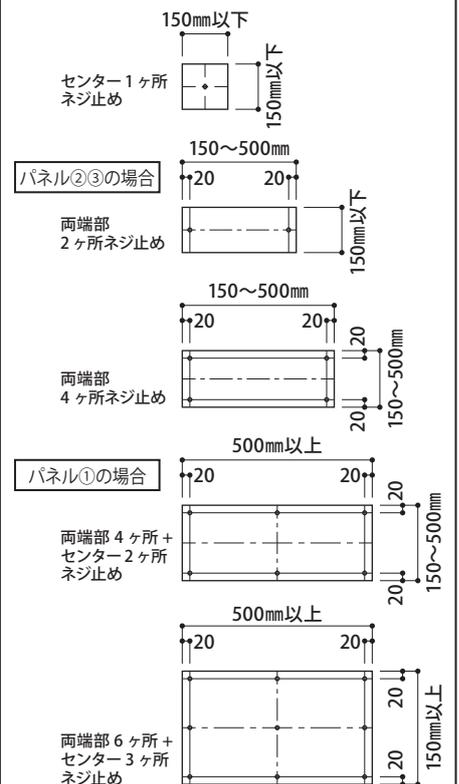
※アクセントパネル貼り付け後、接着剤が硬化する前に右図を参照し同梱のφ4.1×38ナベ木ネジで本体に固定してください。

※ネジ頭がアクセントパネルから約5mmへこむまでねじ込み、パテ（変性シリコン）埋めしてください。

※本体とパネルが密着せず隙間がある場合、ネジを追加してください。又、ネジとネジの間隔は500mm以内にしてください。



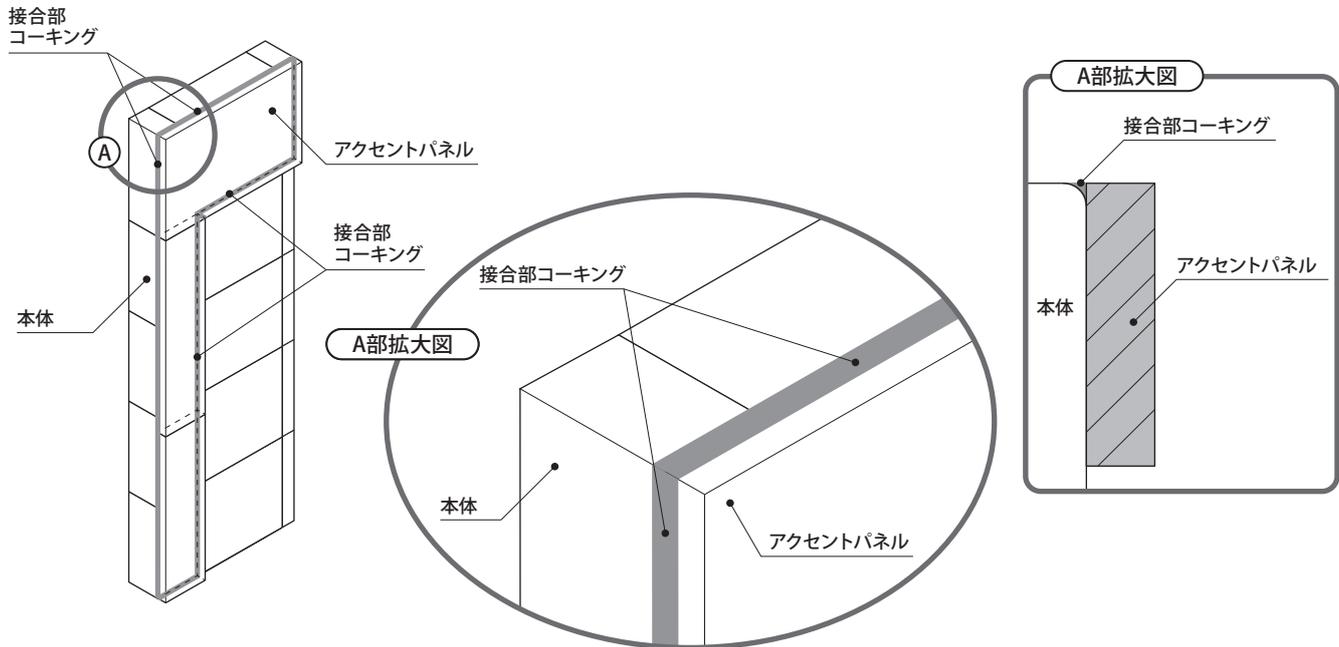
パネルサイズ別ネジ止めヶ所数



2.アクセントパネルの施工〈現場仕上〉

4.コーキング処理

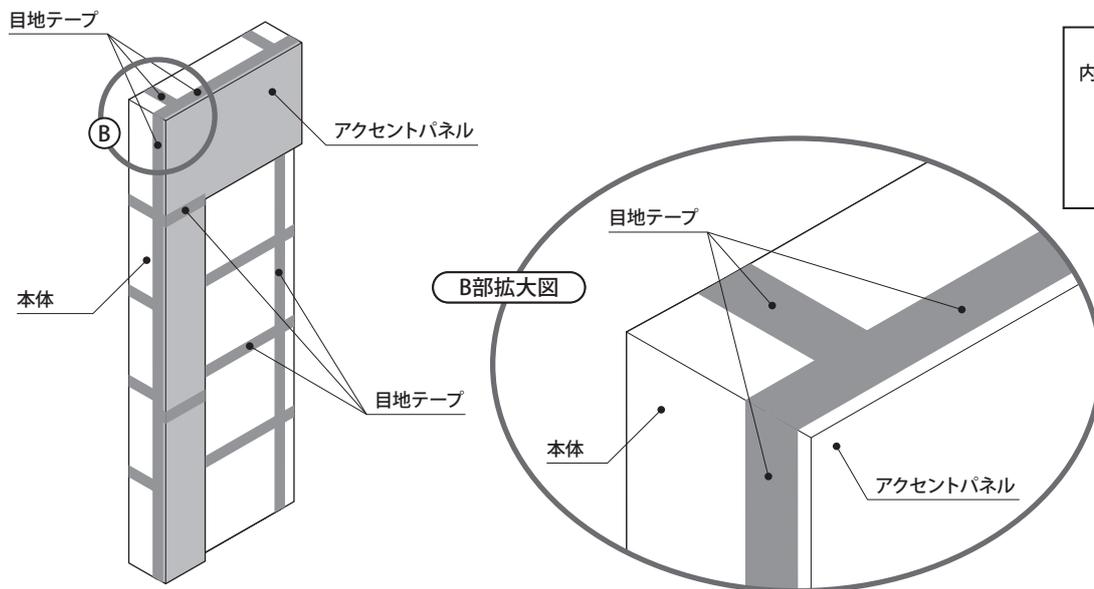
- ①接着剤が完全に硬化してから、接合部にコーキングを施してください。(コーキング材は変性シリコンを使用してください。)コーキングは本体とアクセントパネルの接合部分が、平らになるようにしてください。
- ②上面及び左右側面の本体とアクセントパネル接合部、または接合部に隙間がある場合、下図参照にてコーキングを施してください。



5.目地テープの貼付け

- ①本体のパネル・端部カバーの接合部と一緒に、アクセントパネルの接合部にも目地テープの貼り付けを行ってください。

部材名	梱包名称
目地テープ	目地テープセット



6.再コーキング

- ①目地テープを貼り付けた後、目地テープの上から再度コーキング処理を施しヘラ等で平らに仕上げてください。

3.仕上げ塗装〈現場仕上〉

- ①コーキング乾燥後に仕上げ塗装を施してください。塗装は目地テープの段差が出ないように2度塗りしてください。

株式会社 三 富